

# スクールサポーター

## スクールサポーターとは

スクールサポーターとは、警察署と学校・地域のパイプ役として、少年の非行防止や児童等の安全確保対策に従事する警察署の再雇用職員または専門知識を有する人材をいう。

平成21年度の警察白書によれば、41都道府県で約500人が配置されている。(平成21年4月現在)

**参考** 愛知県警察スクールサポーター運用要綱(抜粋)  
(平成19年)

### 第2 身分等

スクールサポーターは、愛知県警察嘱託員等要綱の制定に規定する嘱託員とし、その運用については、嘱託員要綱に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### 第3 任務

スクールサポーターは、少年の非行防止及び立ち直り支援、学校等における児童及び生徒の安全確保等を行い、もって児童等を非行及び犯罪被害から守ることを任務とする。

## スクールサポーターの活動内容

スクールサポーターの主要な活動内容は、次の通りである。

### 少年の非行防止・立ち直り支援

- ・学校への訪問、指導助言
- ・街頭補導活動 ・有害環境等の浄化

### 学校等における児童等の安全点検

- ・学校の施設や設備の点検および助言
- ・学校周辺のパトロール
- ・防犯ボランティア団体との連携

### 非行・犯罪被害防止教育の支援

- ・防犯教室 ・学校への不審者侵入訓練
- ・非行防止教室 ・薬物乱用防止教室

### 地域安全情報の把握と提供

- ・子どもを対象とした犯罪、不審者等に関する情報の把握
- ・把握した情報の、学校や地域住民等への積極的な提供

- ・非行等問題行動に関する情報の把握と学校警察連絡協議会等への情報提供

## 各地の活動事例

### ●秋田県

平成19年4月から、県内5警察署においてスクールサポーターが、子どもを非行や犯罪の被害から守る活動を行っている。

基本的な任務以外にも、少年が多く利用するコンビニエンスストア、ゲームセンター、書店などを訪問し、スクールサポーター制度の説明、少年の健全育成に関する今後の協力依頼などを行っている。

また、スクールガード(→p.49)養成講習会への派遣依頼を受け、児童等の安全確保という共通の目的を持つスクールガードに、見守り活動のポイントの助言や護身術の実技指導等を行っている。

### ●埼玉県

スクールサポーターの派遣によって、生徒指導の方針が徹底されるなど、生徒指導体制が確立しつつあり、学校関係者には、「スクールサポーターは非行化が進んでいる学校を変える原動力になる」と高く評価されている。

平成21年度には、中学校の夏休み期間を利用し、過去に非行等を犯した生徒や問題行動のある生徒の立ち直り支援を図るため、スクールサポーターが少年指導委員等と連携し、就業体験を行わせることにより、働くことの重要性や自分の将来について考える機会を与えた。

### ●岡山県

スクールサポーターが、パトロール隊、PTA、スクールガード・リーダー等と連携し、通学路等の見守り活動や学校等における防犯教室、防犯訓練の指導に当たっている。

平成20年には、宝くじ協会から岡山県に26台の青色回転灯(→p.7)付きのスクールサポーターカーが寄付され、岡山県22か所の警察署に配置された。